

平成26年度 上半期財政事情

「財政事情の作成及び公表に関する条例」の定めにより、平成26年度上半期（4月1日から9月30日まで）の予算執行状況をお知らせします。

総務課財政係 ☎52・2112

まちの予算規模は？ 全会計の予算総額は 49億6,267万円

9月30日現在の一般会計予算額は39億5,119万6千円で、当初予算から4,095万3千円増加しています。これは、社会保障・税番号制度システム整備に伴う総合行政情報システムの改修委託や町道除雪業務委託の拡充見直し、金山・下金山地区の統合学校整備に係るヒートポンプ設備導入に伴う地中熱調査委託などの補正を行ったためです。また、5つの特別会計予算の合計額は10億1,147万4千円で、当初予算から1,168万7千円増加しており、全会計を合わせた本年度の予算総額は49億6,267万円となっています。

一般会計の執行状況 収入は・・・

一般会計の予算額と収入済額・支出済額の内訳は【表1】のとおりで、予算額に対して9月30日までに収入した割合は56.4%で、中でも地方交付税は予算額24億2,949万6千円に対し、収入済額は17億8,013万4千円で収入全体の8割を占めています。また、南富良野小学校の外構整備事業及び遊具設置事業などの財源に充てる国庫支出金は、事業が完了してから交付されるため収入割合は29%、同じく林業専用道スキー場線開設事業などの財源に充てる道支出金は16%となっており、町税の収入割合は61.2%、東幾寅線整備事業や農地整備などの財源に充てる町債（借金）は、来年3月以降に借入れるため9月30日までの収入はありません。

支出は・・・

東幾寅線整備事業などを含む土木費の支出済額は1億1,482万2千円で予算額に対する支出割合は25.3%、借金を返済する公債費の支出済額は4億1,383万3千円で同52.5%、また、特別職と一般職員に給与や手当を支払う職員費の支出済額は3億1,469万7千円で同47.3%などとなっています。一般会計全体の予算額に対する支出割合は43.3%で、前年度同期の41.3%とほぼ同じ割合となっています。

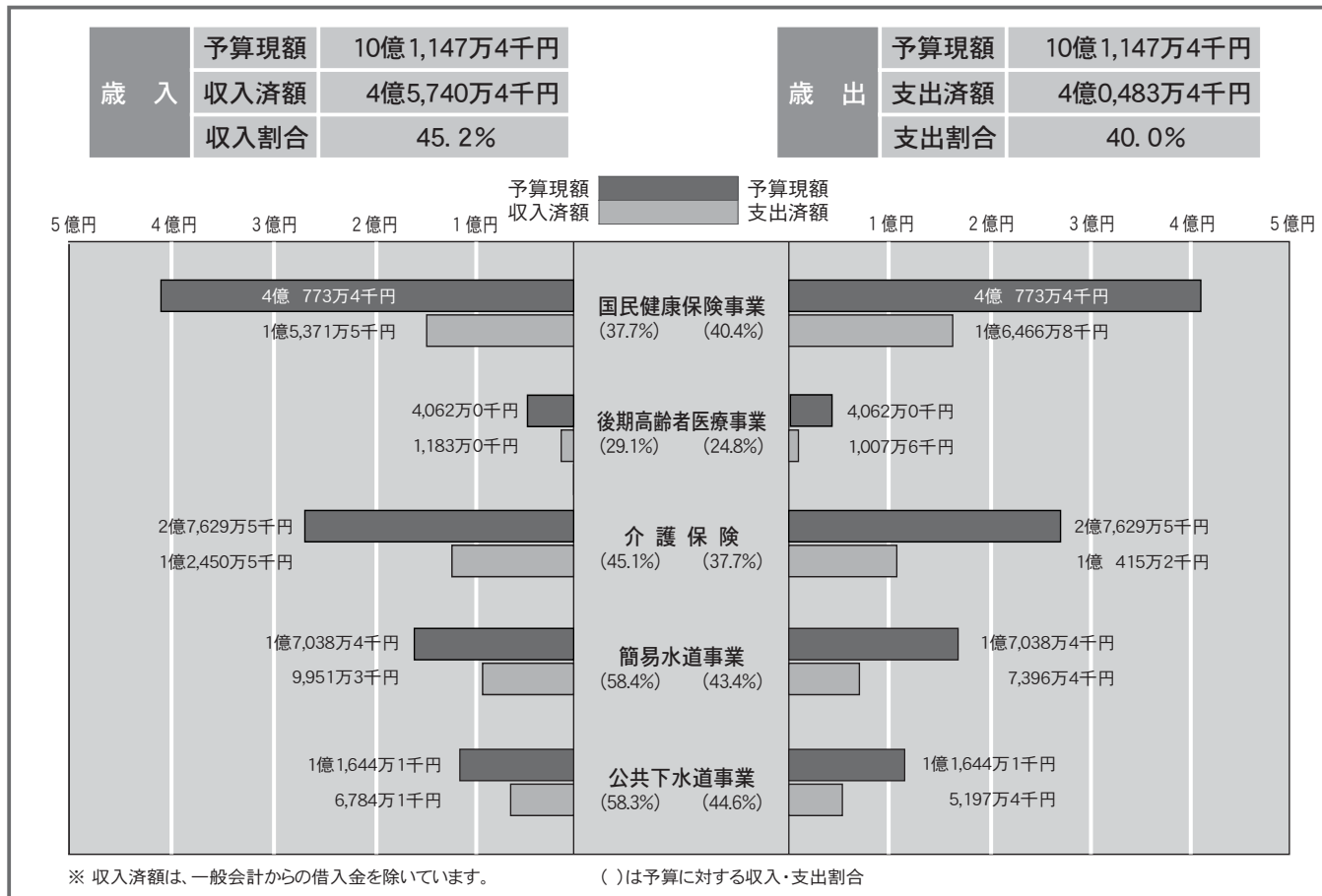
特別会計の執行状況

一般会計とは別に健康保険や上下水道などの事業を行う特別会計の予算額と収入済額・支出済額は【表2】のとおりで、このうち支出済額が収入済額を上回っている国民健康保険事業特別会計では、一般会計から一時的に資金を借り入れて賄っています。

前年度からの繰越予算

このほか、前年度予算のうち工期が年度をまたいだ金山地区福祉複合施設整備事業や非常用発電機設置及び防災資機材等整備事業などの繰越予算が全会計で7億3,814万8千円あり、これらの事業の財源に充てる国庫補助金や町債などは事業が完了してからの収入となることから、収入済額は7,269万2千円で、繰越予算額に対する収入割合は9.8%、支出済額は1億4,112万2千円で支出割合は13.6%となっています。繰越予算と本年度の全会計予算を合わせた町全体の予算総額は57億8,188千円となり、収入済額は27億6,038万6千円で収入割合は48.4%、支出済額は22億1,632万円で支出割合は38.9%となります。

【表2】各特別会計予算の執行状況（9月30日現在）



【表1】一般会計予算の執行状況（9月30日現在）

